次代を担う子どもが健やかに生まれ、元気に育つための子育て支援策

「寄居町次世代育成支援対策行動計画（後期実施計画）」

後期5カ年計画の第5年次実施結果を報告します！

町では、「寄居町次世代育成支援対策行動計画（後期実施計画）」に基づき、総合的かつ計画的な子育て支援策に取り組んでいます。

今回は、平成26年度に実施した主な事業の概要をご紹介します。なお、26年度の実績・評価については、本誌6頁上段をご覧ください。

1．子育てしているすべての家庭のために

①親子が気軽に相談、交流できる場の充実

○地域子育て支援センター事業の充実
子育て家庭等に対する育児不安などについての相談・指導、地域の保育資源の情報提供など、地域の子育て家庭に対する育児支援を行いました。
年間利用者　5，768人

○保育所の活用
寄居保育所で、毎月第4土曜日に親子ふれあい広場を実施するとともに、私立保育園での保育所地域活動事業や、ミニ子育て支援センター事業を促進しました。

②子育て支援情報の充実

○子育て支援情報の充実
毎月広報よりいに、子育てサロンの情報や今月のイチ押し事業を掲載しています。また、町公式ホームページやフェイスブックでもお知らせしています。

○子育て応援ブック
出生・転入時に子育て支援課に来庁した時に配布しています。また、町公式ホームページからも閲覧できます。

③親と子の健康と福祉の充実

○妊婦・新生児訪問指導の充実
訪問指導が必要な妊産婦に対し、出産に対する不安解消を図り、疾病の予防や早期発見に努めました。新生児全数訪問事業とこんにちは赤ちゃん事業（乳児家庭全戸訪問事業）を実施し、育児の不安解消と乳児の異常の早期発見に努めました。
・妊婦訪問延べ4件
・新生児全数訪問およびこんにちは赤ちゃん事業は訪問同時実施
対象239人／訪問209人

○乳幼児健康診査の充実
身体発育、精神発達などの障害を早期に発見するとともに、適切な保健・歯科指導を行いました。
4～5カ月児健康診査　年6回実施
1歳6カ月児健康診査　年6回実施
3歳児健康診査　年12回実施

④要保護児童対策の推進

○児童虐待の防止
広報よりいに子どもの人権110番等を掲載し、虐待を未然に防止するため啓発するとともに、人権擁護委員が配布する啓発物品に小学生の人権標語を掲示しました。

○要保護児童対策地域協議会の設置
要保護児童対策地域協議会における関係機関との連携により、組織的に対応し、虐待の早期発見・早期対応に努めました。

⑤障害児施策の充実

○障害児通園事業の推進
心身に障害のある児童に対し、日常での基本動作の指導や、集団生活への適応訓練を行う施設へ通園する幼児の保護者へ支援を行いました。
利用者数　26人

⑥ひとり親家庭の支援の充実

○ひとり親家庭福祉事業の充実
母子及び父子並びに寡婦福祉資金制度やひとり親家庭就学援助制度の普及に努めました。

⑦経済的支援の充実

○こども医療費支給事業等の推進
こども医療費支給件数
52，188件
ひとり親家庭等医療費支給件数
3，194件

○児童手当・児童扶養手当制度等の普及PR
0歳から中学3年生までの保護者に支給しました。
児童手当支給対象児童
3，722人
児童扶養手当支給者
357人

○第3子以降の保育所保育料無料化
保育所入所児童が第3子以降の場合、保育料を無料化しました。
対象児童　114人

○子育て世帯臨時特例給付金
消費税率の引上げに際し、子育て世帯への影響を緩和するとともに、子育て世帯の消費の下支えを図るため、15歳以下の子ども1人につき1万円を支給しました。
2，040世帯
34，070，000円

2．働きながら子育てをしている家庭のために

①子育てと仕事の両立の支援

○仕事と生活の調和の普及PR
男女共同参画講演会を実施し、普及PRに取り組みました。
2月2日「地域の中で男女共同参画を進めるための第一歩」参加者108人

②多様な保育ニーズに対応した保育サービスの充実

○低年齢児保育の充実
公立保育所で6人、私立保育園で41人の低年齢児保育を実施しました。

○延長保育の充実
寄居保育所と私立保育園4園で延長保育を実施しました。
利用者数
寄居保育所　延べ495人
こぶし保育園　延べ218人
ゆずの木保育園　延べ354人
いずみ保育園　延べ1，217人
寄居のこキッズ保育園　延べ690人

○一時保育事業
保護者の就労形態や疾病などにより、一時的に保育を必要とするお子さんに対し、保護者に代わり保育を実施しました。
公立保育所　延べ320人
ゆずの木保育園　延べ117人
寄居のこキッズ保育園　延べ139人

○保育所の整備
町立保育所のエアコンのオーバーホールや、廊下、職員室等の床、壁の修繕を行いました。

③放課後児童クラブの充実

○放課後児童保育施設の整備充実
7カ所の学童クラブで、入所要件に適合する児童264人を受け入れました。また、特別支援学校放課後児童クラブで児童8人を受け入れました。

3．次世代を育む親となるために

①家庭教育に関する情報提供および学習の機会の充実

○各種講座・学級の開催
「すこやか子育て講座」を開催し、就学前の子どもを持つ保護者の不安解消を図りました。「家庭教育学級」の開催により、児童の保護者に対して「家庭教育」のPRを行いました。

②幼児教育・学校教育の充実

○教育に関する3つの達成目標の推進
学力では、「読み書き」「計算」の基礎的・基本的な事項の定着を図りました。体力では、体力テストの小・中学校の総合得点が例年埼玉県で上位に位置し、26年度は埼玉県第3位でした。

③食育の推進

○給食による食育の推進
児童・生徒に、栄養バランスのとれた安全でおいしい給食の提供に努めました。各校では、食育全体計画を見直し、栄養教諭が各校に赴いて授業に加わり、食育の充実に努めました。

④思春期保健対策の推進

○薬物乱用防止教室の実施
喫煙・飲酒・薬物乱用による心身の健康への影響等を理解させるため、すべての中学校で、専門家による薬物乱用防止教室を開催しました。また、小学校でも、薬物乱用防止教室を開催しました。

4．子どもが健全に育つ町づくりのために

①多様な体験プログラムの充実

○ボランティア体験機会の充実・促進
ボランティア体験プログラム4分野を用意し、128人が体験しました。

○農林業体験の充実
寄居小学校緑の少年団と中町ジュニア緑の少年団で、金尾地内と保田原地内の山林の下刈りボランティアを実施しました。

②子どもの遊び場の充実

○児童館事業の充実
幼児クラブや火曜日のどんぐり会等、児童福祉月間事業（人形劇）を実施し児童の健全育成を図りました。

③子どもの人権の尊重

○子どもの権利侵害に対応する相談業務の充実
子どもの権利擁護を意識してDV相談や心配ごと相談に対応しました。

④子どもが健全に育つための環境整備

○青少年の健全育成
子どもたちへの声かけ運動、街頭キャンペーン、子ども見守り活動等を地域ぐるみで実施しました。また、「第8回寄居町こどもギネス大会」を2月21日に実施し、592人の参加がありました。

⑤子どもを犯罪から守るための取り組みの推進

○防犯灯の設置
地区からの申請により防犯灯を28灯設置し、夜間の危険箇所の解消を図りました。

○「子ども110番の家」の普及促進
小学校の通学路に面した住宅を中心に協力を呼びかけ、子ども110番の家について普及促進を図りました。

⑥交通安全対策の推進

○交通安全教育の推進
交通安全教育を保育所（園）、小・中学校で開催しました。教職員および保護者・安全ボランティアによる登校時の交通安全指導を行いました。

⑦子育てを支援する生活環境の整備

○公共交通機関のバリアフリー化
鉢形駅構内トイレのバリアフリー化について補助を行い推進しました。

後期実施計画の平成26年度の事業概要を報告しましたが、町では平成26年度に策定した「寄居町子ども子育てスマイルプラン」に基づき事業の推進に努めていきます。また、子ども・子育て会議で事業の実施状況を検証し、広く子育て家庭や関係機関の意見を反映させていきます。

問い合わせ／子育て支援課（☎581・2121内線132）へ。